

IL PIRATAS P.14

"サンタクロースが100万ユーロくれたら?子供たちのサイクリングスクールを始めるよ。Disabilityの有無にかかわらず、共に学び、走ることが出来るスクールをね。"
IL Piratasはバルセロナがベースのトラックレースチーム。黒いジャージをまとう、四肢の一部を失った彼らはまさに、いにしえの海賊のように強く優しく、そして美しいレーサーたちです。

TRANSMISSION P.44

Johnny Green によるレギュラーコラム。

BREAKING BAD P.46

円形交差点地獄ともローラーコースターとも呼ばれるアムステル・ゴールド・レースのFDJチームカーからのレポート。落車、パンク、クラッシュするチームカー、観客や警察に足止めされるスタッフたち。アスタルロサの逃げは決まらなかったようだが、サガンは勝ったのか?ブーシェは?メリーゴーラウンドのようぐるぐる回る興奮のレースルポ。

POLI P.76

イタリア、ルッカにある自転車店Poli、バルタリと共に戦った初代オーナーの父、何人ものプロレーサーを育て、レースをオーガナイズし、ルッカのレース環境を作ったその息子、その膨大なレースの記憶と自転車店の意義とは。

DAVE CLARKE P.96

ジャマイカ系イギリス人レーサーDavid Clarke、下着のモデルから、教師やバイクショップの通販担当等の仕事をこなしながら、1997年17歳の時から数々の国とチーム(日本のNippoも含む)を渡り歩くWorking Class Hero。人種問題、ドーピングへの嫌悪...。もしかしたら10年生まれるのが早かったのかもしれない。

WON'T GET FOOLED AGAIN P.118

Matt Seatonによるレギュラーコラム

ALCHEMY P.120

Cielo/Chris Kingなどのハンドメイドバイクにおけるサプライチェーン・マネジメント手法(受注・生産・配送の一括経営)を模索していたAlchemy Bicycleは2度のNAHBSにおける栄誉を経てコロラドに移り、ハイクオリティなカーボン素材から塗装までを自社工場で行なうハンドメイドメーカーとなった。わずかな期間でそれを成し遂げた手法と経営哲学とは。

ROMA MAXIMA P.142

127kmを独走しそのまま優勝したブレル・カドリはなんと前日トスカーナでのStrade Bianchiにも出場していた。バルタリ、モゼール、ジモンディが活躍した歴史あるレース、ジロ・デル・ラツィオがローマ・マキシマに名前を変えて復活。二重・三重駐車と荒れた道で有名な、歴史ある街ローマでのレースルポ。

TURKEY P.164

今年もまた疑惑の内に幕を閉じたTour Of Turkey。ウィナーのサヤル(トルコ、Torku Seker Spor)はこの後EPO陽性が発覚。総合2位、エリトリア出身のベルハネ(ヨーロッパカー)はフルームらと同じくUCIのプログラムによりヨーロッパに渡った選手。ヨーロッパ-アジア-アフリカ、権力と新しい力が激しく交錯するレースルポ。

CINO AND I P.188

フレーム作りに関してはチーム機材としてではなく個人へのスペシャルハンドメイドにこだわったCino Cinelli。他方ではCampagnoloからPhil Woodまでをレース市場に供給し、ハンドル、ステム、プラスチックサドル、トレードマークとも言えるなで肩のフォーククラウンなど実用に基づいたパーツ開発をしたCinelli。幸運にもシリアルナンバー入りのSuper Corsaを手に入れた筆者による1986年のインタビュー。

PAINT IT BUCK P.210

1984年ツール山岳王Robert Millarによる新しいレギュラーコラム

